

令和6年度（2024年度）ST（スーパーティーチャー）の紹介

氏名（ふりがな）：嶋村 武（しまむら たけし）

教科（科目）：特別支援（知的障がい：各教科、道徳、自立活動、各教科等を合わせた指導他）

勤務校：熊本県立荒尾支援学校

1. 自己紹介、プロフィール

中学校での指導経験と知的障がい教育校での指導経験を活かした『教科等横断的な視点での教育課程の編成と授業づくり』について先生方と一緒に考えていきます。

【こんな事が得意です】

行動上の課題に対する指導の工夫～応用行動分析による行動の見方

知的障がい教育におけるどの子も楽しめる図画工作・美術の指導の工夫

（共生社会を実現するアーツの役割に関する研究）⇒創作活動のアイデアの提供

2. 研究テーマや授業等での取組（心がけていること）

知的障がい教育校における美術教育のあり方（「共生社会を実現するアーツの役割に関する研究」）

【心がけていること】

チーム・ティーチングの効果を最大限に活かすためのMT（メイン・ティーチャー）としての指示の出し方の工夫及びMTとST（サブ・ティーチャー）の関係性の確認

3. 研修・講演、情報提供が可能なテーマや事項

知的障がい教育校における行動上の課題に関する指導体制のあり方

知的障がい教育校における授業づくり

知的障がい教育校における美術教育

応用行動分析の基礎・基本（解説・演習）

4. これまでの主な活動実績

「自校における主な活動」

○小学部一般学級1年「図画工作」師範授業～造形遊びの指導(主体的に取組む姿を引き出す題材の工夫)

○小学部一般学級1年「図画工作」師範授業～版画の制作(身近な素材や材料を使いながら、これまでと違った新しい体験ができる制作方法の工夫)

○小学部一般学級4年「図画工作」師範授業～立体造形(知識構成型ジクソー法の視点を基に、制作工程ごとに他者との関りが生まれる指導の工夫)

○中学部一般学級1～3年生「美術」師範授業～食品サンプルアート(STとの協働的関係を円滑にする指導案の工夫)

○高等部一般学級1年「数学」師範授業～図形とインテリアデザインを関連させた授業

○高等部一般学級2年「美術」師範授業～立体造形(セラミック粘土による鳩笛の制作) ,etc

「他校における主な活動」

○知的支援学校高等部「数学」～授業研究会講師および次年度授業シラバス作成に係る指導助言

○義務教育校知的障がい学級教職員研修～講話「特別支援学級の教育課程編について」

○義務教育校地区ブロック教職員研修～応用行動分析による行動の見方・考え方「講話+演習」

○義務教育校校内教職員研修～応用行動分析の視点を取り入れた自立活動の授業「授業講評+講話」,etc

5. 学校や関係 HP のリンクなどアドレス

HP：<https://sh.higo.ed.jp/arao-s/>

メール：shimamura-t@mail.bears.ed.jp